

STEP 1 作るバッグの形を決め、下準備をします
テンプレートの右下のイラスト a~hの中から選んでください。

STEP 2 選んだバッグのイラストのラインの色に従って、テンプレートの使用箇所を選び、印付けをします

STEP 1

a べたんこ

b トート

c 角丸

d 角丸ダーツ

e 台形

f 台形ダーツ

g グラニー

h ピンタック

リボン位置を指定する

布の用尺(必要な布の大きさ)と材料

<p>袋布</p> <p>表布、裏布、接着芯 34×44cm 各2枚ずつ</p>		<p>ポケット</p> <p>※bのみ 底芯×1枚 (厚手接着芯、ホリ芯等) →寸法は「印の付け方③」</p> <p>表布、裏布、接着芯 64×44cm 各1枚ずつ</p>	<p>持ち手</p> <p>A・B・Cから選びます。*説明書裏面「④持ち手を作る」参照</p> <table border="1"> <tr> <th colspan="2">持ち手 A</th> <th colspan="2">持ち手 B</th> <th colspan="2">持ち手 C</th> </tr> <tr> <td>手さげ</td> <td>肩かけ</td> <td>手さげ</td> <td>肩かけ</td> <td>手さげ</td> <td>肩かけ</td> </tr> <tr> <td>40×14cm</td> <td>60×14cm</td> <td>40×28cm</td> <td>60×28cm</td> <td>40cm</td> <td>60cm</td> </tr> <tr> <td colspan="2">表布・裏布 各1枚</td> <td colspan="2">表布 ×2枚</td> <td colspan="2">縫テープ×2本</td> </tr> <tr> <td colspan="2">接着芯×2枚</td> <td colspan="2">接着芯×2枚</td> <td colspan="2">(2.5~3cm幅)</td> </tr> </table>		持ち手 A		持ち手 B		持ち手 C		手さげ	肩かけ	手さげ	肩かけ	手さげ	肩かけ	40×14cm	60×14cm	40×28cm	60×28cm	40cm	60cm	表布・裏布 各1枚		表布 ×2枚		縫テープ×2本		接着芯×2枚		接着芯×2枚		(2.5~3cm幅)		<p>持ち手</p> <p>グログランリボン (2.5cm幅) 130cm × 1本</p>
持ち手 A		持ち手 B		持ち手 C																															
手さげ	肩かけ	手さげ	肩かけ	手さげ	肩かけ																														
40×14cm	60×14cm	40×28cm	60×28cm	40cm	60cm																														
表布・裏布 各1枚		表布 ×2枚		縫テープ×2本																															
接着芯×2枚		接着芯×2枚		(2.5~3cm幅)																															

*説明書裏面「①ポケットを作る」参照

A(二重)薄地~普通地の場合... 28×22cm 布地・接着芯 各1枚
B(一重)厚地の場合... 18×22cm 布地×1枚

下準備

布地に接着芯を貼る
〈接着芯の貼り方〉
中低温(120~140℃)で上から押さえるようにアイロンをかける。
(ドライ・約10秒)
★接着芯に霧吹きをすると、熱が伝わりやすく、接着しやすくなります。

最初に接着芯を貼る布地

- 表袋
- ポケット A
- 持ち手 A/B

ポケットを付ける布(例:裏布[後])にはポケット位置の印を付ける。

4つの角に目打で穴をあけ、表面からも印がわかるようにする。

STEP 2

袋の型を描く ※詳しい印の付け方は、右記「印の付け方 A~C」をお読みください。

内ポケットを付ける場合はここに印を付ける

〈基本の型の描き方〉例: a(べたんこ)に内ポケットを付ける場合

布の横幅の中心

テンプレートがずれないように、出来上がり線とは別に中心線も印しておく

- 1.袋布の裏面に、出来上がり線、持ち手位置の印を付ける。
- 2.②(w)を中心にテンプレートを裏返し、1.と同様に印を付ける。
- 3.縫いしろ線を描く。
- 4.袋布[前][後]を中表に合わせ待針ととめる。持ち手位置は目打で2枚とも印を付ける。縫いしろ線に沿って裁断する。

③本商品や作り方説明書を無断で複製し、配布することを禁じます。

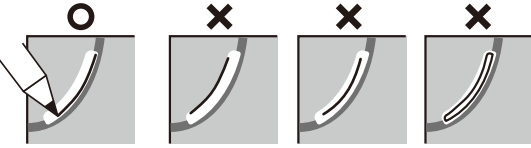
b
h

印の付け方

※印は全て布の裏面に付けます。

● 溝の印付け

ラインの印が付いている側の溝をなぞります。



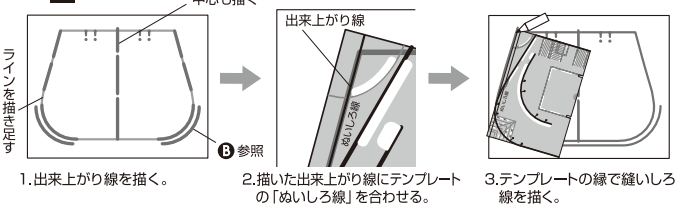
● 丸穴の印付け

中心に印を付けます。



A 直線部分の縫いしろ線の描き方 (a~h 全て)

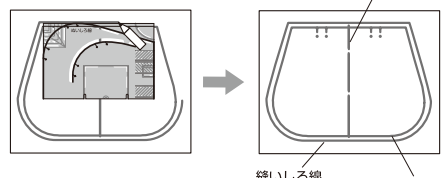
例. **e** (台形) の場合



1. 出来上がり線を描く。

2. 描いた出来上がり線にテンプレートの「ぬいしろ線」を合わせる。

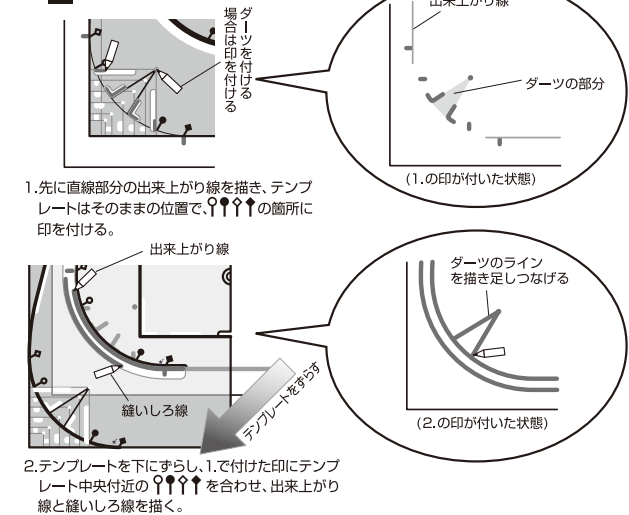
3. テンプレートの縁で縫いしろ線を描く。



4. バッグの口の部分と底も同様に縫いしろ線を描く。

B 底の曲線ラインの描き方 (c~g)

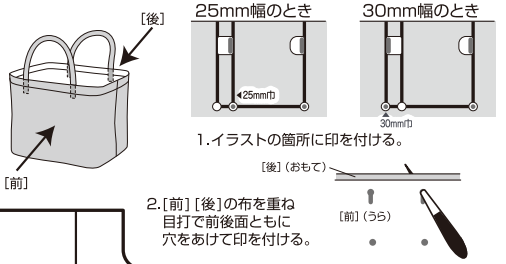
例. **d** (角丸ダーツ) の場合



1. 先に直線部分の出来上がり線を描き、テンプレートはそのままの位置で、印の箇所印を付ける。

2. テンプレートを下にすらし、1. で付けた印にテンプレート中央付近の印を合わせ、出来上がり線と縫いしろ線を描く。

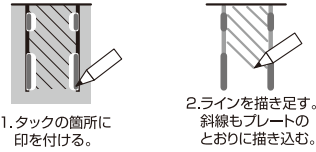
C 持ち手位置の印を付けます (a~f)



1. イラストの箇所に印を付ける。

2. [前][後]の布を重ね目打て前後面ともに穴をあけて印を付ける。

D タックの印を付けます (g h)

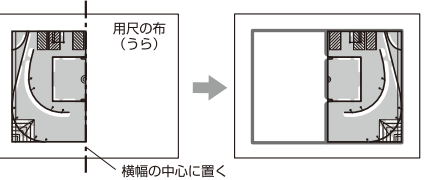


1. タックの箇所に印を付ける。

2. ラインを描き足す。斜線もプレートのとおりに描き込む。

E 中心線を表します (a~h 全て)

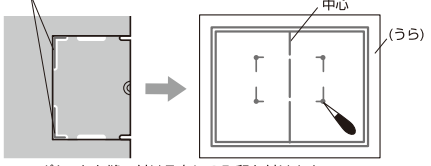
(わ)の印を中心に、テンプレートを左右対称に裏返し、一枚につなげた型にします。



F ポケットの型や位置を描きます (a~h 全て)

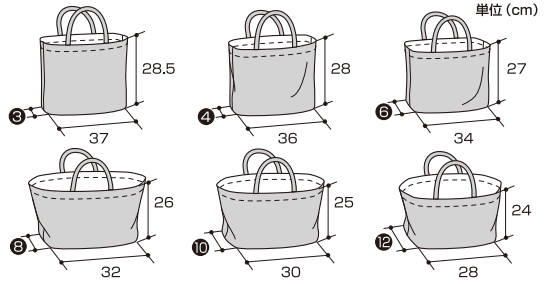
用途 ① ポケットの型を描きます
* 詳しくは説明書裏面「①ポケットを作る」参照

用途 ② ポケット位置の印を付けます
角のみ、印を付ける 目打て穴をあけて表面に印を付ける

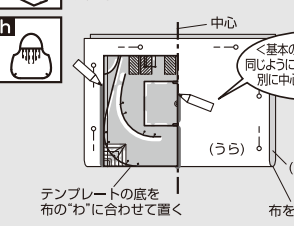


※ ポケットを縫い付ける布にのみ印を付けます。

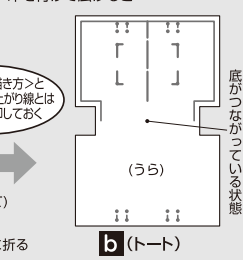
G b (トート)・h (ピンタック) のマチのサイズが選べます



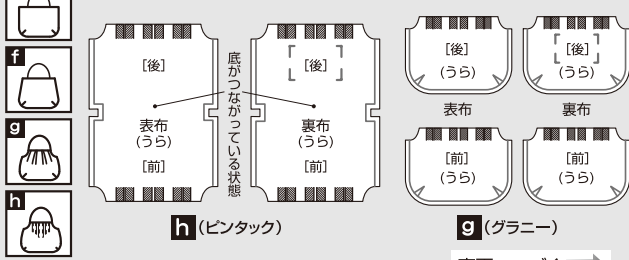
b (トート)・**h** (ピンタック) は用尺の布を中表に「わ」に折り底に縫いしろを付けません。



印を付けて広げると...



d (ダーツ・タック) は、表布 [前] [後]・裏布 [前] [後] 全てに印を付けます。



裏面へつづく

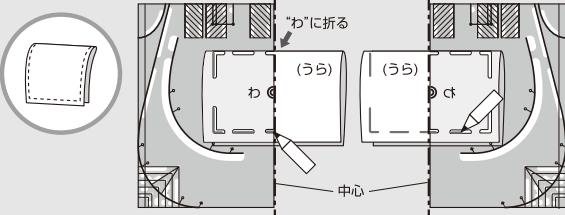
STEP 3 バッグを仕立てます

ポケットを付けない場合

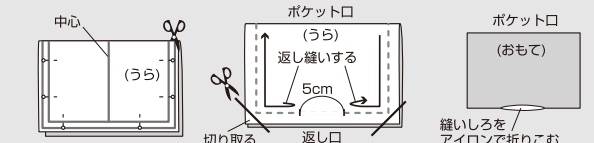
3 袋を縫う

1. ポケットを作る

ポケット A 薄地~普通地で作る場合におすすめします。
(二重のポケット) 接着芯を裏面全体に貼ると、丈夫に仕上がります。

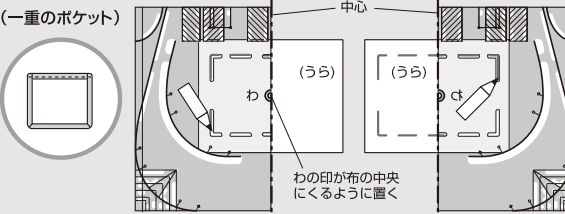


1. 用尺の布を「わ」に折り、溝の上端と折り目を合わせ、左半分に印(出来上がり線)を付ける。
2. 「わ」を中心にテンプレートを裏返し、右半分に1.と同様に印を付ける。

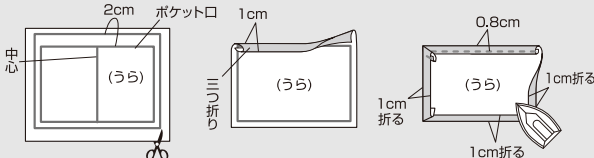


3. 出来上がり線をつなぎ、テンプレートのぬいしる線を使って(説明書表面 A 参照)縫いしろを描く。待針でとめ、縫いしろ線に沿って裁断する。
4. 返し口を約5cm残し出来上がり線を縫う。
5. 返し口から表に返し、返し口の縫いしろを内側に折り込む。
★角を切り取ると縫いしろがかさばりません。
★アイロンをかけるときれいに仕上がります。

ポケット B 厚地で作る場合におすすめします。

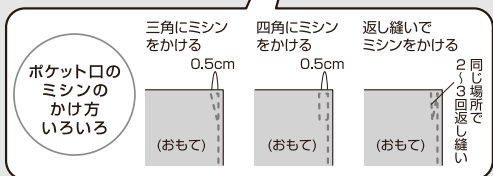
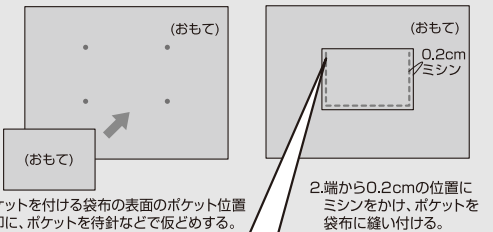


1. わの印を布の中央に置き、左半分に印(出来上がり線)を付ける。
2. わを中心にテンプレートを裏返し、右半分に1.と同様に印を付ける。



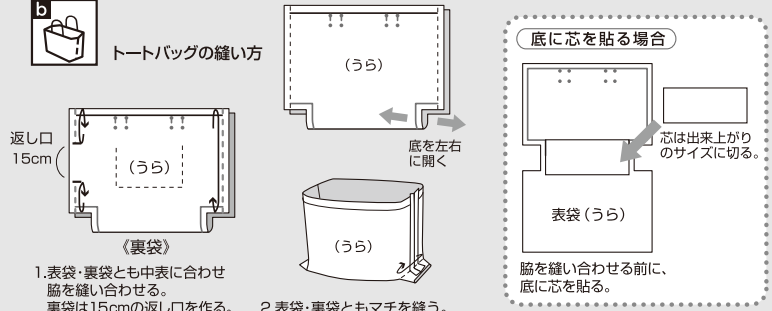
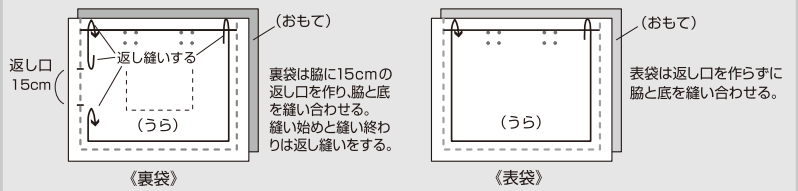
3. 出来上がり線をつなぎ、テンプレートのぬいしる線を使って(説明書表面 A 参照)縫いしろを描く。ポケット口の縫いしろは2cmとる。縫いしろ線に沿って、裁断する。
4. ポケット口の縫いしろを三つ折りにし、アイロンをかける。
5. ポケット口にミシンをかける。残りの縫いしろを1cmに折り、アイロンをかける。

2. ポケットを縫い付ける

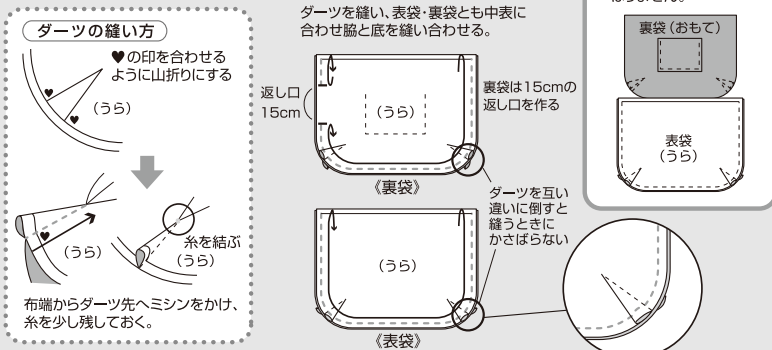


基本の袋の縫い方

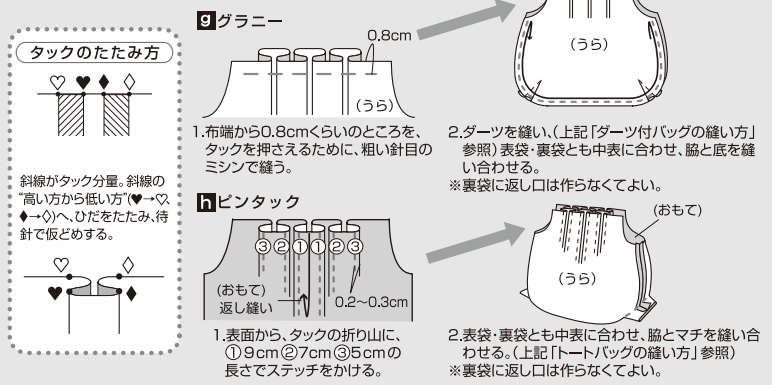
表袋・裏袋とも中表に合わせ、脇と底を縫い合わせる。



ダーツ付バッグの縫い方



タック付バッグの縫い方



→ : 縫う方向を表しています。 ← : 返し縫いを表しています。 ——— : 出来上がり線を表しています。 ——— : 印付けの線を表しています。

(おもて)
表袋は返し口を作らずに
脇と底を縫い合わせる。

(うら)

《表袋》

底に芯を貼る場合

芯は出来上がりの
サイズの切る。

表袋(うら)

脇を縫い合わせる前に、
底に芯を貼る。

★表袋と裏袋を合わせる
ときもダーツが互い違
いになるように合わせ
ると、ダーツ部分がかさ
ばりません。

裏袋(おもて)

表袋(うら)

裏袋は15cmの
返し口を作る

ダーツを互い
違いに倒すと
縫うときに
かさばらない

表袋(おもて)

裏袋(うら)

表袋・裏袋とも中表に合わせ、脇とマチを縫い合
わせる。(上記「トートバッグの縫い方」参照)
裏袋に返し口は作らなくてよい。

表袋(うら)

表袋・裏袋とも中表に合わせ、脇とマチを縫い合
わせる。(上記「トートバッグの縫い方」参照)
裏袋に返し口は作らなくてよい。



4. 持ち手を作る



持ち手 づくり方 いろいろ

A 手さげ: 40cm/肩かけ60cm 表布(おもて) 裏布(おもて)

裏面全体に
接着芯を
貼っておく

1.縫いしろ(1cm)を折り、アイロンをかける。

2.2枚を合わせて両端を縫い合わせる。

持ち手の幅
(2.5 or 3cm)

0.3~0.5cm (おもて)

B 手さげ: 40cm/肩かけ: 60cm 2.5 or 3cm 持ち手の幅 (2.5 or 3cm)

裏面全体に接着芯を貼っておく

1.縫いしろ(持ち手幅と同じ幅)を内側に折り、アイロンをかける。

2.折りたたんだ布を合わせて両端を縫い合わせる。

0.3~0.5cm (おもて)

C 手さげ: 40cm/肩かけ: 60cm 28cm/48cm 6cm

縫テープを半分に折り、端を6cm残し縫い合わせる。

5. 持ち手の付け方を決め、袋を縫い合わせる

持ち手をはさみ込むタイプ

縫い終わりは縫い始めに
重ねる

表袋(うら)

裏袋(うら)

仮どめ

3cm

出来上がりの
ライン

0.8cm

持ち手位置
の印

1.表袋の袋口の縫いしろに持ち手
を仮どめる。
★ミシンで縫っておくと仕上がりが
丈夫です。

2.表袋と裏袋を中表に合わせ
袋口を出来上がり線で縫い
合わせる。

返し口は縫いしろを
内側に折り込んで
まつ

4.袋口に表からステッチ
をかける。縫い終わ
りは縫い始めに重ね
る。

持ち手を表に出すタイプ

縫い終わりは縫い始めに
重ねる

表袋(うら)

裏袋(うら)

4cm

1cm

0.3cm

持ち手位置
の印

縫い付ける

1.持ち手の両端を1cm内側に折り、表袋
の持ち手位置に下端を縫い付ける。

2.表袋と裏袋を中表に合わせ
袋口を出来上がり線で縫い
合わせる。

3.返し口から表に返し、
返し口を閉じる。

持ち手部分の
ステッチの
かけ方

4.袋口に表からステッチ
をかける。
縫い終わりは縫い始めに
重ねる。

4. 袋を縫い合わせ、グログランリボンの持ち手を付ける

裏袋(おもて)

裏袋(うら)

表袋(おもて)

裏袋(おもて)

表袋(おもて)

16cm×2本

49cm×2本

1cm

1.表袋の中に裏袋を外表に合
わせて入れ、袋口をジグザグミ
シンで縫い合わせる。

2.グログランリボンを切り分ける。
49cm2本は端と端を縫いしろ
1cmで縫い合わせ、輪にする。
リボンをそれぞれ2つ折りにし、
アイロンをかける。

3.袋口の直線部分を16cmの
リボンではさんで縫い付ける。

重なり部分
の補強の
縫い方

一周続けて
ミシンをかける

4.輪にしたリボンのほぎ目を、バッグ本体
の脇に合わせ、袋口の曲線部分をリボン
ではさんで縫い付ける。直線との重なり
部分は図のように補強する。
縫い終わりは縫い始めに重ねる。